

## アセトアミノフェン製剤

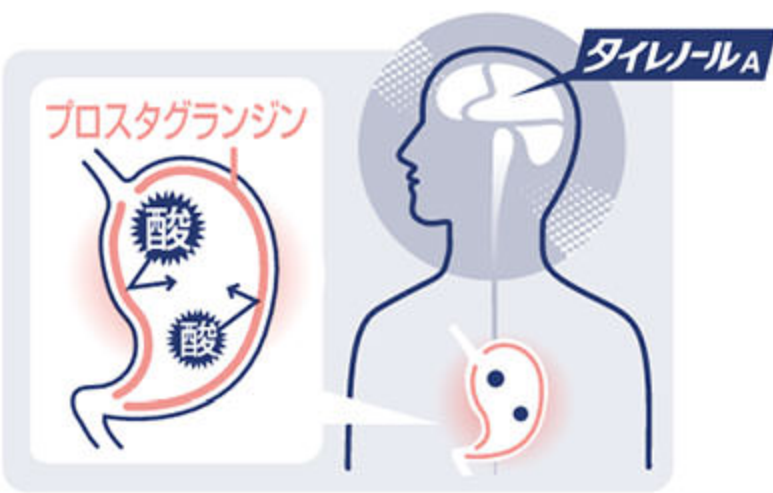
# タイレノール<sup>®</sup>A 頭痛・発熱に



91319

### 特 徴

- タイレノールAの有効成分アセトアミノフェンは「解熱」と「鎮痛」という2つの効果を併せもつ成分です。
- 主に脳にある「体温調節中枢」に作用し、血管を広げることで体外へ熱を逃し、熱を下げる働きをします。
- 脳の中の発熱や痛みの情報を伝える物質を抑える作用で、頭痛や生理痛、関節痛などさまざまな痛みを和らげると考えられています。
- 胃にはもともと、胃酸から胃壁を守るプロスタグランジン(PG)という物質があります。
- タイレノールAはこのPGにほとんど影響を与えないため、「空腹時」にものめるやさしさで効くのです。ただし、かぜによる悪寒・発熱時には、なるべく空腹時をさけて服用してください。



### 使用上の注意



#### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください
  - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください  
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬
3. 服用前後は飲酒しないでください
4. 長期連用しないでください



#### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
  - (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
  - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - (3) 高齢者。
  - (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (5) 次の診断を受けた人。  
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

| 関係部位  | 症 状         |
|-------|-------------|
| 皮膚    | 発疹・発赤、かゆみ   |
| 消化器   | 吐き気・嘔吐、食欲不振 |
| 精神神経系 | めまい         |
| その他   | 過度の体温低下     |

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

| 症状の名称                                                         | 症 状                                                                                        |
|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| ショック<br>(アナフィラキシー)                                            | 服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。                                |
| 皮膚粘膜眼症候群<br>(スティーブンス・ジョンソン症候群)、<br>中毒性表皮壊死融解症、<br>急性汎発性発疹性膿疱症 | 高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。 |
| 薬剤性過敏症症候群*                                                    | 皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。*                               |
| 肝機能障害                                                         | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。                                          |
| 腎障害                                                           | 発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。                                            |
| 間質性肺炎                                                         | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。                         |
| ぜんそく                                                          | 息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。                                                          |

3. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

効能・効果

- 1) 頭痛・月経痛（生理痛）・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛の鎮痛
- 2) 悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

次の量を服用してください。ただし、かぜによる悪寒・発熱時には、なるべく空腹時をさけて服用してください。

| 年齢        | 1 回量        | 1 日服用回数                     |
|-----------|-------------|-----------------------------|
| 成人（15歳以上） | 1 錠         | 3回まで。<br>服用間隔は4時間以上おいてください。 |
| 15歳未満     | 服用しないでください。 |                             |

<用法・用量に関連する注意>

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) 錠剤の取り出し方  
錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください  
(誤ってそのままのみ込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



成分

1錠中

| はたらき          | 成 分       | 分 量   |
|---------------|-----------|-------|
| 熱を下げる・痛みを和らげる | アセトアミノフェン | 300mg |

添加物：セルロース、アルファー化デンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースCa、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、D-マンニトール、酸化チタン、タルク、カルナウバロウ

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わります。）。
- (4) 使用期限をすぎた製品は服用しないでください。

【お問い合わせ先】

本製品内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。  
JNTLコンシューマーヘルス株式会社  
お客様相談室：フリーダイヤル **0120-101110**  
受 付 時 間：**9：00～17：00**（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度のお問い合わせ先（独）医薬品医療機器総合機構  
[https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai\\_camp/index.html](https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html) 電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

製造販売元 **東亜薬品株式会社**  
〒939-3542 富山県富山市水橋開発277番10

販 売 元 **JNTLコンシューマーヘルス株式会社**  
〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39